

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名張市立南中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒518-0421
三重県名張市つつじが丘南1番町241番地

E-mail : g01_j-minami@nabari-mie.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 166名 女子 169名 合計 335名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

次ページに、記載します。

事業報告書

本校では、本年度平和教育及び環境教育に取り組みました。

1. 平和教育について

本校では、下記の修学旅行実施計画の通り、下記の目的に沿った平和学習に取り組みました。

平成25年度修学旅行実施計画

名張市立南中学校

1. 目的

- ・ 集団生活をとおして、なかまと集団行動の大切さを学び、社会的なマナーを身につける。
- ・ 実際に体験や見学を行うことで、平和について深く学ぶ。
- ・ フィールドワークなどをとおして、主体的に行動し問題解決する力を身につける。

2. 期日 平成25年5月15日（水）～17日（金）（2泊3日）

3. 目的地 長崎県（長崎市、佐世保市）

4. 参加生徒 第3学年116名（男子60名 女子56名）

具体的な行程について、2日目が平和教育の中心と位置づけ、とりくみました。下記に記載した行程表にもあるように、原爆資料館の見学、下平作江さんの被爆体験講話、爆心地講演での平和セレモニー、長崎さるくさんとの碑めぐり、を行いました。

下平さんの講話より(生徒新聞より)

今回の修学旅行では、二日目に平和会館ホールにて下平作江さんに原爆落下当時のお話をさせていただきました。下平さんのお話では、父親、男性は赤紙というものが届くと否応なく戦地へ行かされたようです。中略 防空壕の中は、原爆を受け焼け死んだ人たちの死体でいっぱいでした。しばらく経つと中学生が列車に飛び込み亡くなるという事件がありました。そして、日が経つごとに、被爆した影響で妹の原が腐り始めました。下平さんは、過去に目をつむる者は、未来に対して盲目だと教えてくれました。

生徒たちは、講話や碑めぐり等を通して、平和について考え、これから自分自身がどのような行動をしていけばよいのか、クラスや学校全体で修学旅行が終わっても、真剣に考えることができました。

< 行程表 2 日目 >

8:30	原爆資料館到着	<p>★おやつは×。</p> <p>○下車後、駐車場に班隊形で整列。 ○点呼（班長→委員長→担任） ○先生から連絡 (1) 2日目の動きの確認 (2) 平和学習の心構え</p>
8:40	移動見学	<p>○添乗員の案内の下、担任が先頭に立ち原爆資料館に入る。 ○班ごとに資料館を見学する。 ★ワークシートを活用する。 ★写真撮影は禁止。 ○9:30の講演までにトイレをすませておく。</p>
9:20	平和会館ホールへ (3階)	<p>○平和会館ホールへ移動する。 ＜隊形＞各クラス2列名簿順 ★詳しくは「平和会館ホール座席表」参照</p>
9:30	被爆体験講話	<p>＜講師＞下平作江さん ＜司会＞ (1) 開会あいさつ (2) 講師紹介 (3) 下平さんの講話 (4) お礼の言葉・花束贈呈 (5) 校長先生より</p>
10:30	爆心地公園へ 移動	<p>○メモをとりながら真剣に聴く。</p>
10:45	平和セシモニー	<p>○公演後、クラス別2列にかたまって移動。</p>
	長崎さるくさんの紹介	<p>○碑巡り班隊形で整列。 ★詳しくは「平和セシモニー隊形」参照 ○点呼（班長→委員長→担任）</p> <p>＜平和セシモニー＞ (1) 平和宣言 (2) 供え物</p>
10:55	碑巡り開始	<p>○平和セシモニー終了後、少し離れた場所に移動して整列する。 ○長崎さるくさん（碑巡りガイドさん）の紹介を先生から聞く。</p>
	平和記念像前 に集合	<p>○10のグループに分かれ、ガイドさんの案内の下、碑巡りを行う。 ★グループについては「碑巡り班メンバー表」参照 ○メモはとらずに、話はしっかり聴き、分からないことは質問する。 ○最後に班長の指示の下、みんなでお礼を言う。 ★感謝の心を忘れずに。</p>



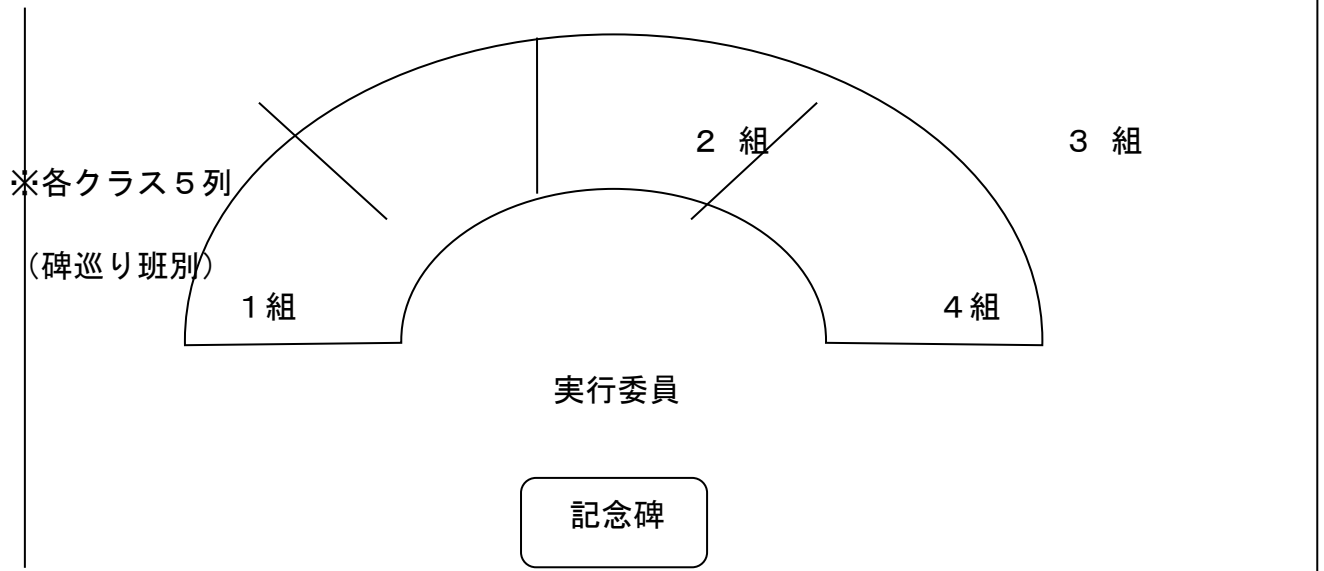
★「当日行った平和セレモニーのワンシーン」

修学旅行 長崎平和セレモニーについて

〈日 時〉 5月16日(木) 午前10:45~午前10:55

〈会 場〉 長崎市爆心地公園

〈整列隊形〉



〈プログラム〉

- ① 開式のあいさつ
- ② 平和宣言
- ③ 千羽鶴を捧げる
- ④ 閉式のあいさつ・・・司会
- ⑤ 諸連絡・・・司会

修学旅行 長崎平和セレモニー

① 開式のあいさつ・・・司会

★「これから、2013年度、三重県名張市立南中学校・修学旅行・長崎平和セレモニーをはじめます。」

② 平和宣言・・・司会

★ 「まずはじめに、平和宣言を朗読します。」

※ 平和宣言を朗読する。

原爆投下から68年目を迎える

この長崎の爆心地に

今 私たち116名は立っています。

1945年8月9日

この場所に原爆が落とされ

長崎の街は強烈な熱線と爆風に包まれ

7万人以上の人々の命が一瞬で奪われました。

私たちはここに来るまでに

原爆の恐ろしさを

被爆された方の悲しみを

また、戦争に巻き込まれた方の思いを

今でも、世界中には戦争で苦しんでいる人が、たくさんいることを

学んできました。

日本は、原爆を落とされた唯一の国です

だからこそ、私たちは

二度と同じ間違いを犯さないように

二度と核兵器が使われることのないように

原爆の恐ろしさを

戦争の残酷さを

そして、そこからくる深い悲しみを

私たちが学ぶだけでなく

次の世代へと伝えていきたい。

それが、戦争を知らない時代を生きる

私たちのすべきことだと思います。

「核兵器がなくなって欲しい」

「世界が平和になって欲しい」

その願いをかなえるのは私たち自身です。

平和は自分たちで作るもの

お互いを尊重し

助け合い

笑顔があふれ

人々が安心して幸せな日々を送れる

二度と戦争を起こさない世界を

私たちの手で作っていきます。

2013年5月16日

三重県名張市立 南中学校 3年生

③ 千羽鶴を捧げる・・・司会

★「次に、原爆で亡くなられた方々に心を込めて千羽鶴を捧げ、1分間の黙禱もくとうを行います。」

※実行委員が鶴を持って前へ移動し、鶴が捧げられたら・・・

★「黙^{もくごう}禱」

★「やめ」

④ 閉式のあいさつ・・・司会

★「以上で、2013年度、三重県名張市立南中学校・修学旅行・長崎平和セレモニーを終わります。」

以上のような流れで、平和セレモニーを行いました。

修学旅行「個人新聞」について

★次のようなことを記事にしよう！

①平和について学習したこと（トップ記事）

- ・ 下平さんの講演
- ・ 平和セレモニー
- ・ 碑めぐり
- ・ 原爆資料館見学

②どんな体験をしたか

- ・ 初めて知ったこと [発見]
- ・ 楽しかったこと [喜び]
- ・ とっておきの話 [特ダネ] など

★★感じたことや学んだこと

◎特に平和について学習したことで

- ・ 自分の考えが変わったこと
- ・ 今後の自分に活かしたい など（トップ記事に含めても良い）

★こんなことに気をつけよう！

□ていねいに書く。（鉛筆で濃く書くか、ボールペンではっきり書こう）

※1文字の大きさは最大4マス（タイトルは少し大きめで）

□色ペンを使うなど、アクセントをつける。

□線で区切って、レイアウトを工夫する。

□字ばかりでなく、少しは写真や絵などがあると見やすいかも!?

※写真は最大2枚まで（2枚使う場合は大きさを考えて）

（内容豊かな新聞にしましょう この新聞は文化発表会に展示します）

以上のような指導の下、修学旅行平和新聞を作成しました。

2. 環境教育について

環境教育については、本年度3回地域の清掃活動を実施しました。特に、第2回、第3回は、地域の自治協議会の方々とのコラボレーションで約90名の自治協議会の方々が参加、生徒は200名の参加となり、充実した活動となりました。以下に、第3回の実施計画を記載します。

3学期 クリーンキャンペーンについて

H26. 2. 4

- 【目的】
- ・ 普段生活している地域にも目を向け、清掃活動に取り組む。
 - ・ 地域の一員として、住みやすい美しい町作りに貢献する。
 - ・ 地域の方との交流をはかる。

【日 時】 H26年2月12日(水) 放課後 (雨天時 14日(金)に延期)

15:00

短学活終了

15:15~

グラウンドに集合 クラス別に整列

出発式(司会生徒会本部)

あいさつ(生徒会会長、地域の方)

諸注意(環境委員)

15:30~16:30 各担当場所に分かれてゴミ拾い(ボランティア袋)

学校に戻ってゴミの分別

16:30~16:35

グラウンドに集合

解散式(司会生徒会本部)

あいさつ(生徒会副会長、地域の方)

【参加者】 生徒会本部7名、環境委員22名、代議員11名、生徒有志
地域の方々(約 50名)

【場 所】 南中学校周辺6カ所

【分 担】 場 所

①校門出て左~南2バス回転場~本通 1-1、2-4

②校門出て右~ヤオヒコ 1-2、3-1

③南1公園 2-1、3-4

④公民館 2-2、3-3

⑤学校周辺、外周、裏コート側の土手 1-3

⑥南1バス停 ~ 2-3、3-2

* () 内に名前のある先生は、早めに学校に戻り、ゴミを分別する。

* 部活指導: 武道場

グラウンド

体育館

校内

【方 法】 生徒会本部がリーダーになって、各場所のゴミ拾い等をする。

【準備物】 ・学校で用意…ボランティア袋 火ばさみ 箒
回収分別ゴミ箱 可燃ゴミ、不燃ゴミ(ガラス 金属)、資源ゴミ(ペットボトル・その他)

・参加生徒各自で用意 …軍手、スーパーの袋

★学級で日時を連絡し、有志の参加を呼びかける。

以下に記載するものは、当日の生徒の取り組みの様子や感想を地域に向けての「南中だより」に掲載し回覧させていただいたものです。

生徒総会で呼びかけました

第1回
クリーンキャンペーン

5月27日(月)の6限目に生徒総会を行いました。内容は、生徒会本部の活動方針として、挨拶運動・エコキャップの回収・クリーンキャン

ペーン等の活動が提案されました。また5つの委員会からは、ベルマークの回収や校舎内外の清掃活動の充実等様々な観点からの提案がなされ、生徒たちの討議の中で、本年度の活動方針の決定がなされました。



生徒会からの一言

私たち南中学校では生徒会でたくさんの意見を出し合いました。中でも挨拶キャンペーンやエコキャップ集め・ベルマーク集め・クリーンキャンペーンについては、私たちだけでなく地域の皆様にもご協力いただけたらと考え企画しています。生徒会本部、各種委員会を中心に動いています。まだまだ未熟な点はたくさんありますが、これからも頑張っていきますので、応援よろしくお願いいたします。

5月28日(火)の放課後、生徒会本部・環境委員会を中心につつじが丘地内を7箇所(学校周辺・公園・公民館)にわかれて本年度の第1回クリーンキャンペーンを行いました。放課後の1時間足らずの短い時間でしたが、生徒会・環境委員会が自分たちで企画した初めての取り組みです。地域の美化活動に積極的に取り組み、より充実した活動にとっさり取り組むことができました。空き缶や傘、お菓子の空袋や吸い殻など家庭用のゴミ袋4袋ぐらいが集まりました。次回は、地域とのコラボレーションを考え、生徒会本部で検討をしているところです。昨年度から本校はユネスコスクールに加盟し地域と共に発展していくことをめざしております。



今後も、継続した活動を続けて参りますので、子どもたちへのご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

環境委員からの一言

クリーンキャンペーンでは、多くの生徒のみなさんが参加してくれました。自分たちが住んでいるお世話になっている地域に少しでも貢献できてよかったし、継続していきたいと思います。

クリーンキャンペーン

11月13日(水)に学校・地域とのコラボレーションによるクリーンキャンペーンを行いました。今回の大きな目的は、「①普段生活している地域にも目を向け、清掃活動に取り組む。②地域の一員として、住みやすい美しい町づくりに貢献する。③地域の方々との交流を図る。」です。地域の、6箇所(公民館、南2バス回転場、南1公園等)を、地域の多くの方々と共に約1時間清掃活動に取り組み30袋を超えるゴミを集めることができました。

下記に生徒会本部の感想の一部を掲載させていただきます。

ゴミを拾うだけでなく、地域の方と話しながら活動でき、とても有意義な時間でした。次回も、一人ひとりが地域のために活動していきたいと思っています。



本校においては、本年度以上のような取り組みを行いました。平和学習・環境学習については、地域とのコラボレーションによる広まりができてきており、地域に根ざした学校という意味でもこの実践が非常によい効果を上げているものとする。また、学校評価においても、生徒たちの自治活動の取り組みが、学校評価の総合満足度80%を達成できる大きな力となったことは明らかである。次年度も、本年度に引き続きユネスコスクール 持続発展教育(E S D)への取り組みを継続していきたいと考えている。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()